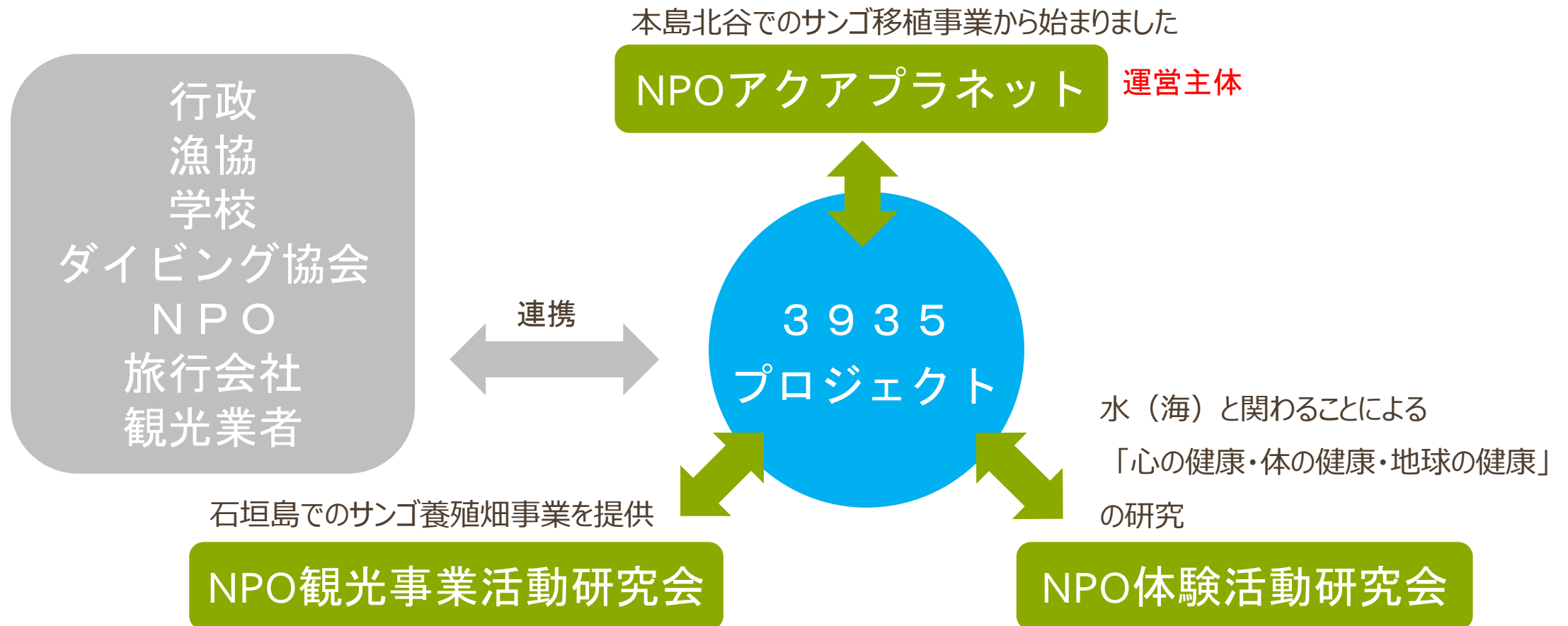


3935プロジェクトの 取組みについて

3 9 3 5 組織図

3つのNPO法人で構成されたサンゴの再生・保護を行う団体です



3 9 3 5 プロジェクトとは

サンゴの再生・保全活動を行っています。

サンゴ育成から地球環境保護に対する啓発活動を行うと同時に、企業の社会貢献事業としての活動参加をはじめ、観光客、ダイバー、地元住民らに「苗作り体験」や「植え付け」を行う体験コンテンツを提供しながら、サンゴ保全活動による新たな観光事業の創出も視野に入れた活動が「3 9 3 5 プロジェクト」です。



取組み 1

陸域 苗作り体験（体験施設コーラルファンアジー内）

ターゲット：観光客・修学旅行生

ゲスト

1、サンゴ説明・学習

2、プレートに名前と
お願いなどを記入

3、苗作り体験

出来上がった苗をスタッフが

4、養殖場へ植付

5、サンゴ画像付ハガキ
をゲストへ郵送



取組み2

ダイビング店舗専用サンゴ畑の提供

ターゲット：ダイビング事業者・ダイバー（登録店舗30店舗）



取組み3

サンゴ植付応援プログラム 企業

支援
畑作成
育成・管理
画像動画提供
HP/SNS配信

企業CSR
社会貢献事業
サステナビリティ

～ご支援から、サンゴ礁域の環境保護活動の流れ～



ご支援をいただいた段階で、サンゴ畑の状況をHP・SNSで情報発信することで、サンゴ礁の現状を広く告知することができ、取組に参加していない方や現状を知らない方への啓発活動にもつながっていきます。



取組み3

サンゴ植付応援プログラム 一般

主にネットからのご支援

直接植付可

植付は代行も可

植付後、プレートに
名前を明記し撮影
支援者に画像をメール
配信か画像付きハガキ
を郵送

直接植付風景



スタッフが苗を作り、植付を代行。 植付後撮影し画像添付



石垣島での活動・イベント・継続教育

■ 2014年養殖活動開始、同年、石垣市が地方創生事業「サンゴ保全活動における新たな観光事業の創出」として事業を支援していただき、5000本の苗を植付、八重山漁業協同組合様より、海中の「サンゴ畑」を作る場所を、無償レンタルしていただき、島に訪れる観光客、ダイバー、地元住民らに「苗作り」や「植え付け」を行う体験コンテンツを提供

■ 甦れ！愛しき八重山の海：ダイビング植付・苗作り体験
・SUPヨガ体験・講演会

植付本数：416本

（参加一日目240名、二日目176名：計416名）



■ サンゴ応援プロジェクト・ギネスに挑戦：講演、苗作り体験
植付本数：1000本（参加251名）



■ サンゴ復活応援プロジェクト サンゴ苗観察会（小中学生向け）
去年植付けたサンゴを船上から箱メガネで見て絵日記作成
植付本数40本（参加AM20名、PM20名：計40名）



取組み 5

サンゴ育成データの収集

- 白化の原因調査（高水温・海水酸性化etc）
- 死滅の要因調査（水温、漂砂、食害、人害、海水etc）
- 高水温に強い苗の割り出し
- 養殖方法調査（場所・高さ、水深、部材）
- 専用部材（固着剤、定着材）の開発検証（沖コン）

※現在、養殖場は3箇所（すべてサンゴ特区内）

地形、水深、海況等が異なる環境で育成、検証

養殖活動はサンゴ再生保全活動のあくまで一部、どれだけ植付を行っても、サンゴが死滅する要因を止める、改善すること、サンゴが育つ最善の環境とすることが最も重要なこと。それを世界中の一人でも多くの方に考えて実行してもらうためのきっかけとして、養殖活動を続けています。

今後の取組み

- 苗作り・植付にプラスアルファのツアー

- 養殖場見学：グラスボート・スノーケリング・ダイビング

- 苗作りを行った後、その苗が海でどうなるのかをツアーとして実体験

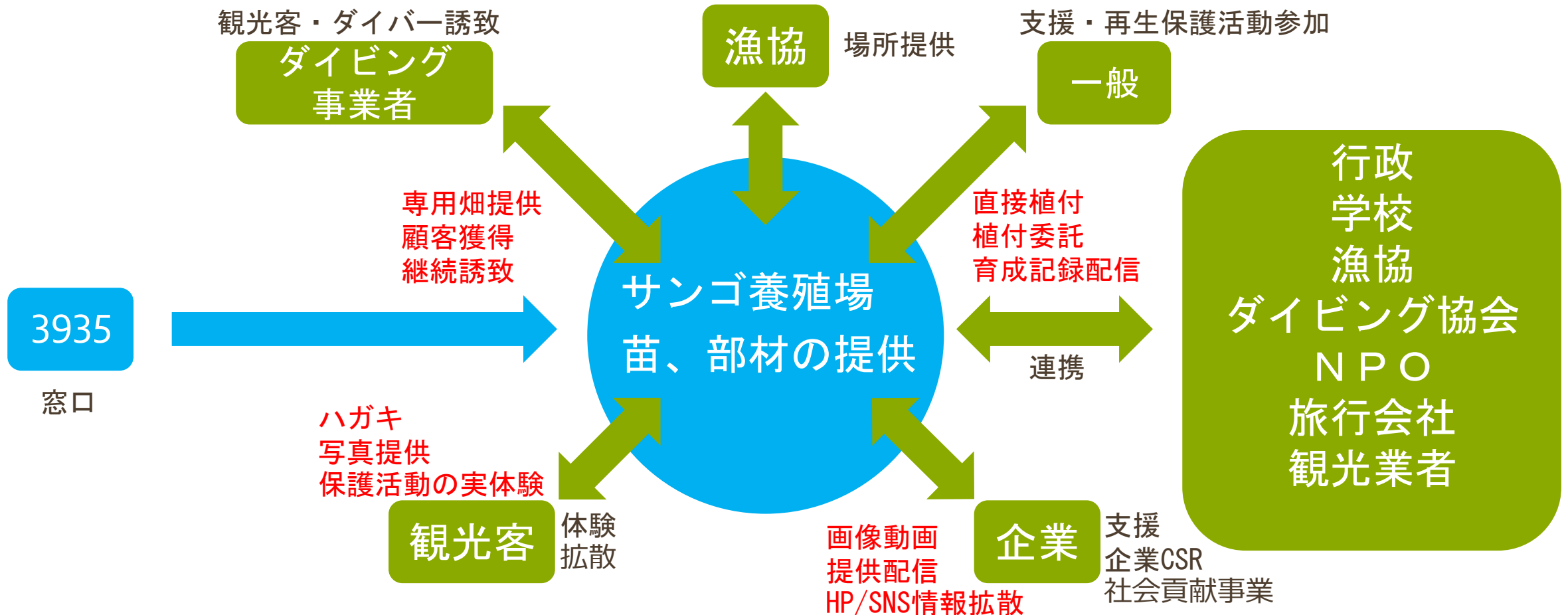
- 自然環境への移植活動

- 養殖場で育てた苗を死滅した環境へ移す

- ※死滅原因と苗の適合性を検証中

持続可能な活動と取組み

連携体制



さいごに

我々の活動は地球規模でみたら、小さな活動です。
自然の再生力、治癒力にはかないません。

しかし、ただ手をこまねいていても前には進まない、活動を通し少しでも地球環境の理解から再生、保全につながればという思いで活動しています。

サンゴ活動は多くの費用が掛かることも課題の一つです。
その為持続可能な仕組みを作りながら観光へつなげ、再生保全＝経済へ波及させていくことも目的としています。

これらを行うには、個々の力だけでなく、多様な業種、地元、行政など多くの方と連携をとることが不可欠です。
皆の力で地球の財産を守っていきましょう